

令和5年度

学 力 向 上 プ ラ ン
【後期】

上尾市立瓦葺中学校

上尾市立瓦葺中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- あかるく心豊かな生徒
- たくましく進んで汗を流す生徒
- まじめに学習に取り組む生徒

学校課題研究主題

「文房具のように ICT 端末を使う授業を目指して」
-生徒が自身の必要に応じて、
好きなタイミングで ICT 端末を活用できる授業-

学力・学習状況調査の結果

R5 全国学力・学習状況調査	R5 埼玉県学力・学習状況調査	R4 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の平均正答率は全国平均と同程度であるが、国語、数学は全国平均を下回る。 ・国語では、読むことに関する思考・判断・表現を問う問題の正答率が特に低い傾向にある。 ・数学では、数と式、図形、データの活用に関する問題の正答率が低い。 ・英語では、聞くこと、読むことに関する問題の正答率がやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力レベルの平均は、国語が 2.5 レベル、数学・英語が 2 レベル伸びている。 ・国語、数学ともに、学力を伸ばした生徒の割合は埼玉県の平均を大きく上回っている。 ・主体的・対話的で深い学びの実施、学習方略の努力調整方略、非認知能力の自制心と向社会性の項目の数値が埼玉県と比較して低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、読むことに関する問題の正答率が全国平均を上回っているが、書くことに関する問題の正答率は低い。 ・数学では、数と式・図形・関数のすべての領域で平均正答率は全国平均を上回っているが、思考・判断・表現を問う問題、記述を伴う問題の正答率は低い。 ・英語では、聞くこと・読むこと・書くことのすべての領域で平均正答率は全国平均を上回っている。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の知識及び技能を習得する力 ○学習した言葉の意味や内容、原理・法則を正しく理解する力 ○学習した内容を他の学習や生活の場面で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○習得した知識や技能をもとに考える力 ○物事の中から問題を見だし、習得した知識や技能を活用し、問題解決を図る力 ○自分の思考や考えを適切にわかりやすく伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強く取り組む力 ○粘り強い取り組みの中で自らの学習を調整しようとする力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<p>ア 学ぶために必要な 5 つの力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して学習する力 ・集中して学習する力 ・静かに学習する力 ・丁寧に学習する力 ・分からないことを自分で調べる力 <p>イ 授業規律を確立する。</p> <p>ウ 個別学習や補習学習、反復学習や反転学習などを取り入れる。</p> <p>エ オンラインドリルを活用した習熟学習を積極的に行う。</p>	<p>ア 「見方・考え方」を軸にした授業改善を図る。</p> <p>イ 見通したり、振り返ったりする活動を充実させる。</p> <p>ウ 協働的な学びや問題発見・問題解決的な学習を積極的に取り入れる。</p> <p>エ ICT を活用した思考を深める学習活動を積極的に導入する。</p>	<p>ア 非認知能力（自制心、自己効力感、勤勉性等）を高める。</p> <p>イ 学んだことの意義を実感できる学習活動や評価の工夫を進める。</p> <p>ウ 教科横断的な学習（ESD や SDGs など）に積極的に取り組む。</p> <p>エ ほめる教育を推進し、できた喜びを賞賛し合う学級づくりを進める。</p>

本校の特色ある取組

- 「あ・じ・み・こ・しで自立」
- ラビ活
- 漢検対策
- 補習の実施
- 教育相談の実施
- 朝の挨拶運動と下校指導

家庭教育との連携

- 家庭学習の支援
- 朝の挨拶運動と下校時の見守り活動

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎・基本の知識及び技能を習得する力 ②学習した言葉の意味や内容、原理・法則を正しく理解する力 ③学習した内容を他の学習や生活の場面で活用する力	④習得した知識や技能をもとに考える力 ⑤物事の中から問題を見だし、習得した知識や技能を活用し、問題解決を図る力 ⑥自分の思考や考えを適切にわかりやすく伝える力	⑦知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強く取り組み ⑧粘り強い取り組みの中で自らの学習を調整しようとする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	③、⑥、⑦	③基礎的な言語事項の学習を活かした短作文を作成し、日常的な言語活動の充実を図る取組。 ⑥発言や発表学習を通して意見や意図を明確に伝える体験を増やす取組。 ⑦課題を思考する時間を配慮し、考えを書き留める習慣を促進する取組。	
社会	②、④	②単元ごとに小テストを実施し、基礎的基本的な知識を定着させる取組。 ④小集団学習を通して、自分の考えを伝えたり、友達の考えを理解したりして、自分の思考を深め、表現する取組。 ④単元を貫く課題を設定し、主体的に社会と関わる意識を育む取組。	
数学	③、⑤	③生徒たち自身に解き方を考えさせる話し合い活動の充実 ⑤毎時間の授業の振り返りカードの記入 ⑤単元ごとに学習内容をまとめ、その単元の学習内容を利用した問題を作成するレポートの作成。	
理科	②、④	②実験器具の扱いに関する技能テストを行う取組。 ④見通しをもって観察実験などを行わせ、得られた結果から思考させる機会を増やす取組。	
外国語	②、⑥	②プログラムテストを実施し、語彙力を高め、知識を定着させる取り組み ⑥書くことや話すことによるパフォーマンステストの実施	
音楽	②、⑥	②毎時間の授業の振り返りを記入する ⑥鑑賞で注目する箇所をあげ、音楽用語と自分の言葉を結び付けて表現できるようにする。	
美術	⑥、⑧	⑥鑑賞や導入を工夫し、日常生活のあらゆる場面で美術が関わっていることに気付かせる。 ⑧制作後の鑑賞や、毎時の自己評価シートを通して自分を振り返る時間を作る。	
技術	②、④	②授業のねらいに対する自分の考えをまとめたり、学んだことを振り返ったりすることで、学習内容の理解を深め、次の学びにつなげる ④授業支援アプリケーションや Web サービスを積極的に活用し、他者の考えを共有し自分の考えと比較しながら思考を広げられるようにする。	
家庭	③、⑧	③色々な分野の学習において、意識して理科や社会等の他教科との関わりを気付かせる。実践レポートを作成させる。 ⑧作品作りに粘り強く取り組ませる。	
保健体育	⑤、⑧	⑤提示された技能ポイントを参考にし、自己や仲間の動きを比較し、それを伝える活動を設定する。 ⑧技能ポイントと自己の動きを比べることを意識させ、解決方法を考え、それを次の授業で解決していくという、技能向上を目指す学びのサイクルを設定する。	
特別の教科 道徳	⑥	⑥話し合い（ペア、小グループ等）を毎授業設定する。 ⑥本時のねらいについて今までの自分を振り返り、今の自分の立ち位置から今後どうするかを考え、ワークシートに自分の言葉で表現させる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

- | | |
|-----------------|--|
| ○「あ・じ・み・こ・しで自立」 | ・教育活動スローガン「あ・じ・み・こ・しで自立」(あいさつ・時間・身だしなみ・言葉遣い・姿勢)を継続し、「価値ある学校生活」の実現を目指す。 |
| ○ラビ活 | ・各専門委員会の取組。全校生徒の基本的な生活習慣を正し、生徒全員が学校生活のルールを徹底して守り、よりよい学校を目指す。 |
| ○漢検対策 | ・毎週1回実施し、全学年10分間の自習形式で取り組む。 |
| ○補習の実施 | ・定期テスト前と長期休業中に、国語・社会・数学・理科・英語の5教科を中心に補習を行い、基礎学力の定着を図る。 |
| ○教育相談の実施 | ・年2回の教育相談期間を設け、個々の支援にあたる。 |
| ○朝の挨拶運動と下校指導 | ・全教員と生徒会役員、生活委員が連携して挨拶運動を毎朝行う。下校時には、ルール・マナーの改善や不審者との接触防止のために下校指導を行い、安心安全な登校下校を目指す。 |

家庭教育との連携

- | | |
|-------------------|--|
| ○家庭学習の支援 | ・各教科からの年間学習計画をまとめた「シラバス」を全家庭に配布して、学校と家庭の両面から家庭学習の支援を行う。 |
| ○朝の挨拶運動と下校時の見守り活動 | ・保護者、地域の方々と共同して挨拶運動を行う。また、保護者と連携して下校指導を毎週行い、下校時の安全を見守りを行う。
・自治会やPTAによるパトロールを定期的に行う。 |